

すべてをカバーする効率性

フルサイズセンサーカメラ

- ・45MPフルサイズセンサー
- ・4.4µmピクセルサイズ
- ・低ノイズ、高感度画像処理で、日々の運用可能時間を延長
- ・飛行中最短間隔は0.7秒
- ・TimeSync 2.0により、カメラ、フライトコントローラー、RTKモジュール、ジンバルをマイクロ秒レベルで同期



すべてを撮影する柔軟性

複数の単焦点レンズ オプション

- ・メカニカルシャッター、シャッタースピード1/2000秒
- ・露光パルスの中央値をマイクロ秒単位で送信秒
- ・DJI DLマウントで24/35/50mmレンズに対応



スペック

| 一般 | |
|--------|-----------------------------|
| サイズ | 198 × 166 × 129 mm |
| 重量 | 約 800 g |
| 消費電力 | 20 W |
| 保護等級 | IP4X |
| 対応機体 | Matrice 300 RTK |
| 動作環境温度 | -20° to 50°C (-4° to 122°F) |
| 保管環境温度 | -20° to 60°C (-4° to 140°F) |
| 絶対精度 | 水平: 3 cm、垂直: 5cm *8 |

| 動画 | |
|----------|--|
| 動画フォーマット | MP4 |
| 動画解像度 | 16:9 (1920 × 1080)、16:9 (3840 × 2160) *9 |
| フレームレート | 60 fps |

| ジンバル | |
|------------|---|
| スタビライズシステム | 3軸 (チルト、ロール、パン) |
| 角度ぶれ範囲 | 0.01° |
| マウント | 取り外し可能 |
| 機械的な可動範囲 | チルト: -125° to +40° ロール: -55° to +55° パン: ± 330° |

| カメラ | |
|------------|---|
| センサー | センサーサイズ (静止画): 35.9 × 24 mm (フルフレーム) センサーサイズ (最大動画録画エリア): 34 × 19 mm 有効ピクセル: 45MP ピクセルサイズ: 4.4 µm |
| 対応レンズ | DJI DL 24mm F2.8 LS ASPH (レンズフードとバランスリング/フィルター付き)、FOV 84° DJI DL 35mm F2.8 LS ASPH (レンズフードとバランスリング/フィルター付き)、FOV 63.5° DJI DL 50mm F2.8 LS ASPH (レンズフードとバランスリング/フィルター付き)、FOV 46.8° |
| 対応するSDカード | SD: UHS-1以上; 最大容量 512 GB |
| 保存ファイル | 写真 / GNSS Raw データ / ログファイル |
| 写真サイズ | 3:2 (8192 × 5460) |
| オペレーションモード | 静止画、動画、再生 |
| 最小撮影 | 0.7 秒 |
| シャッタースピード | メカニカルシャッター速度: 1/2000 ~ 1 s 電子シャッター速度: 1/8000 ~ 1 s |
| 絞り範囲 | f/2.8 ~ f/16 |
| ISO感度 | 静止画: 100 ~ 25600 動画: 100 ~ 25600 |

- *1 地上解像度 3 cm、オーバーラップ率 75%、サイドラップ率 55%で、マッピング撮影使用
- *2 地上解像度 3cm、オーバーラップ率 75%、サイドラップ率 55%
- *3 グローバルシャッターは、セントラルリーフシャッターで実現
- *4 地上解像度 3 cm、オーバーラップ率 80%、サイドラップ率 65%で、スマートオペブリークキャプチャー使用
- *5 計測精度: 1.5 km2、飛行高度: 200 m
- *6 計測面積: 0.5 km2、飛行高度: 200 m
- *7 近日サポート予定
- *8 GSD 3 cm; 飛行速度 15 m/s; フロントオーバーラップ率 75%; サイドオーバーラップ率 55%
- *9 35 mm レンズのみ対応

DJI Enterprise について

DJI Enterprise は、新世代ビジネスのために世界トップクラスのドローンソリューションを開発するグローバルチームです。ドローンソリューションにより、作業者を支援し、業務拡大と作業のデジタル化を推進。農業/インフラ/公共安全部門など、さまざまなビジネスをサポートすることができます。

DJI ENTERPRISE

www.enterprise.dji.com/jp

[f](#) @DJIEnterpriseJP [@](#) @dji_japan [@](#) @DJIJAPAN

このカタログの記載内容は2021年3月現在のものです。

販売店
〒015-0012
秋田県由利本荘市石脇字田尻3-128
日本海ドローンスクール
TEL 0184-24-0811 FAX 0184-74-3120

© 2021 DJI JAPAN. ドローンを飛ばすためにはルールがあります。申請が必要なエリアや飛ばし方などの情報はDJIホームページをご確認ください。製品の構成や仕様は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。ご使用に際しましては、最新の情報をご確認ください。

DJI ENTERPRISE



ZENMUSE P1

効率性と柔軟性を併せ持つ、フルサイズ航空測量用カメラ

DJI Zenmuse P1は、フルサイズセンサーカメラと交換可能な単焦点レンズを3軸ジンバルスタビライザーに搭載しています。航空写真測量用に設計され、精度と効率をまったく新しいレベルに引き上げます。

- GCPなしの精度
水平 3 cm / 垂直 5 cm *1
- 高効率
一度の飛行で3km²をカバー *2
- 45MP
フルサイズセンサー
- 3軸ジンバルスタビライザー
スマートオペブリークキャプチャー
- メカニカルシャッター *3
シャッタースピード 1/2000秒
- TimeSync 2.0
マイクロ秒レベルの同期

航空写真測量の定番ツール



並外れた効率性

P1は、飛行中最短撮影間隔 0.7秒の、低ノイズ高感度のフルサイズセンサーを装備し、一度の飛行で 3 km²^{*4} をカバーします。

卓越した正確性

メカニカルシャッターと、マイクロ秒レベルでモジュール間の時間を同期する刷新された TimeSync 2.0システムを装備し、P1はリアルタイムの位置と方向を補正する技術を組み合わせ、cmレベルの精度のデータを取得できます。

強固な汎用性

24 / 35 / 50mm レンズを装備可能な 3 軸ジンバルカメラと、スマートオプリークキャプチャー機能により、2D、3D、及び詳細モデルを作成します。

スマートに動作、高速に動作

スマートオプリークキャプチャー

P1は1日の作業で 7.5 km²^{*4} の範囲をカバーします。オプリーク撮影の効率をスマートオプリークキャプチャーで向上します。ジンバルが自動的に回転し、必要な角度の写真を撮影します。構築に不可欠な写真だけが、飛行区域の外縁で撮影され、後処理の効率を 20%^{*5} から 50%^{*6} 向上します。

現場作業レポート^{*7}

位置データ、撮影画像数、RTKステータス、ポジショニングの正確性をチェックして、飛行後すぐにデータ品質を検証します。

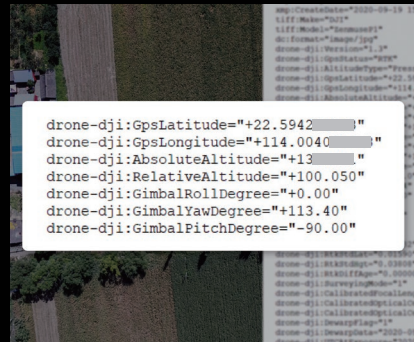
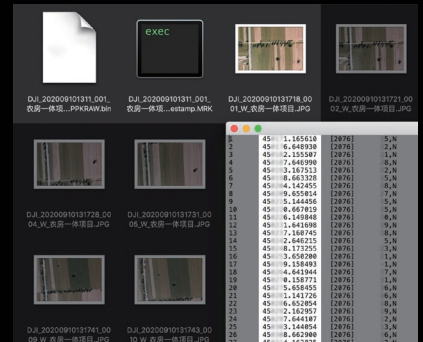


スマートデータ管理 作業データの管理を効率化します。

作業結果ファイルは、作業名と作業時間が自動的に関連付けられます。

写真、GNSSデータ、TimeStamps.MRKファイルが一元化された保管場所。

画像のメタデータには、カメラの内部パラメータと外部パラメータ、および RTK の状態が含まれています。



あらゆる用途に対応する撮影モード



2D オルソモザイク撮影

P1を使用してGCPなしでオルソモザイクを生成します。中域から広域での撮影に最適です。



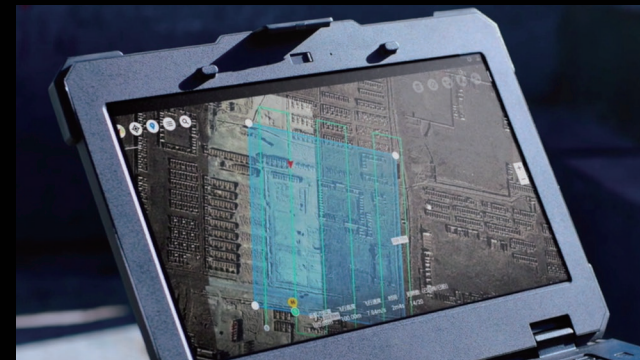
3D オブリーク撮影

都市計画や cm レベル精度の土地測量など、様々な業界の 3D モデリング要件を満たすオブリーク画像を複数の角度から容易に撮影します。3D リアルタイムモデルやスマートシティ計画に役立ちます。



詳細モデリング撮影

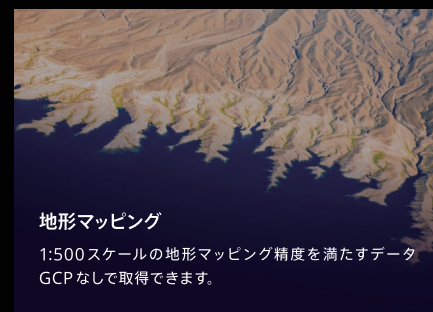
垂直面や傾斜面の超高解像度な画像データを安全な距離から取得し、微細なテクスチャーや構造物、特徴を忠実に再現し、詳細な構築、地質調査、遺跡登録地保全、治水工学などに活用できます。



リアルタイムマッピング撮影^{*7}

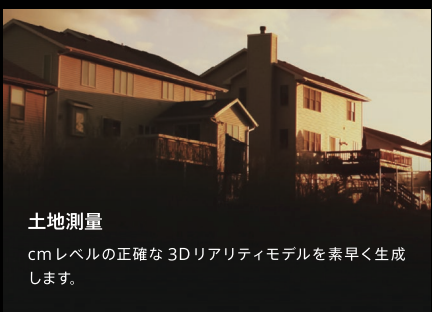
DJI Terra を使用して広域の地理情報をリアルタイムで収集することにより、現場で重大な決断をすぐに下せます。

利用用途



地形マッピング

1:500スケールの地形マッピング精度を満たすデータGCPなしで取得できます。



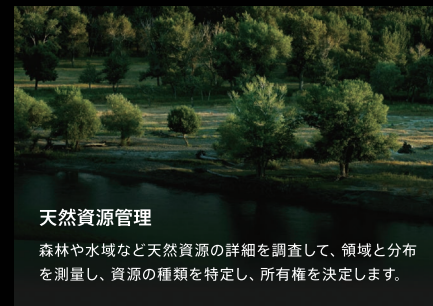
土地測量

cmレベルの正確な3Dリアルタイムモデルを素早く生成します。



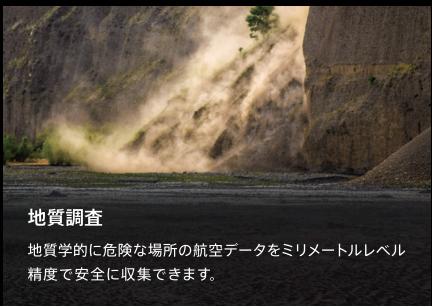
点検と測量

2Dおよび3Dのドローンデータを使用して、プロジェクトのライフサイクル全体を管理できます。



天然資源管理

森林や水域など天然資源の詳細を調査して、領域と分布を測定し、資源の種類を特定し、所有権を決定します。



地質調査

地質学的に危険な場所の航空データをミリメートルレベル精度で安全に収集できます。



被災地モデリング

広大な被災地の概要をリアルタイムに把握し、救助チームが重要な意思決定を行うのに役立ちます。

